

<目指す人間像>

夢と志を持ち、社会に貢献する人間

<教育目標>

自律 協働 挑戦 創造

飯野中志保井が丘憲法

- 一 あいさつをする
- 二 服装を正す
- 三 ていねいな言葉遣いをする
- 四 時間を厳守する
- 五 整理整頓をする
- 六 交通ルールを守る
- 七 自分の行動に責任を持つ
- 八 何事にも真剣に取り組む
- 九 「(各自の目標・志)」
- 十 当たり前のことを
当たり前にする

目指す生徒像

自律
協働
挑戦
創造

- 基本的な生活習慣・学習習慣を身につけ、実践・改善に取り組む生徒
自らの生活・学習の課題を把握・分析し、主体的に解決する生徒
自分を大切にし、相手を思いやる生徒
目的意識を持ち、周囲と対話しながら協調して行動する生徒
自らの学力・体力の限界を決めず、自己の向上に挑み続ける生徒
困難に直面しても工夫や努力を重ね、最後まで成し遂げる生徒
夢や目標を持ち、未来志向で計画・行動する生徒
失敗から学び、新たな取組を創造して実践する生徒

目指す学校像

- ◎ 笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校
- ◎ 教師・保護者・地域が
みんなで見守り、みんなで育む学校

目指す教師像

- ◎ 健康で、前向きさと人間的魅力にあふれる教師
- ◎ 生徒一人一人と向き合い、傾聴し、丁寧に対話する教師
- ◎ 授業と向き合い、改善に努め、挑戦する教師
- ◎ 生徒や同僚から謙虚に学び、成長し続ける教師
- ◎ 努力を惜しまず、笑顔で協働・創造する教師
- ◎ ルール・マナーを守り、生徒のモデルとなる教師

自律的に生きる生徒の育成

- 1 自己有用感・自己肯定感の涵養
 - ① 授業を核とした積極的生徒指導の推進
 - ② 「褒める・認める」関わりの充実・徹底
 - ③ 家庭との密な連携・情報共有
 - ④ 必要に応じ、個別的教育支援計画・指導計画に基づいた支援・指導の充実
- 2 主体性の育成と生活習慣・学習習慣の定着・確立
 - ① 規範意識・社会性の育成
 - ② 自立心の育成と集団へ貢献する喜びの体得
 - ・ 志保井が丘憲法の遵守
 - ・ 自主的・主体的な生徒会・係・部活動や学校行事等の運営・改善
- 3 信頼関係の構築と自己マネジメント能力の育成
 - ① 一人一人の生徒の良さの共有
 - ② 生徒との信頼関係を基盤とした学級・教科経営
 - ③ 信頼関係の醸成と自己マネジメント能力の育成

協働する生徒の育成

- 1 豊かな心の育成と支持的な集団づくり
 - ① 多くの人と関わる充実感の感得
 - ② いじめや不登校が起きない集団の育成
 - ・ 道徳を中心とした多様な価値観との出会い
 - ・ 協働による温かく支持的な集団づくりの推進
- 2 個が認められ、笑顔で生活できる環境づくり
 - ① 問題の早期発見・早期対応と効果的な連携
 - ② 信頼関係の構築と、個々の課題解決
 - ・ 日常観察や各種調査・アンケート結果等の共有
 - ・ SC・SSW・民生委員等との連携による問題解決
 - ・ 計画的・組織的取組とspeedyな対応
 - ・ 生徒・保護者への丁寧な対応と連携
- 3 他と関わる力・コミュニケーション能力・共感する力の育成
 - ① 地域へ関わり、感謝し、貢献する活動の充実
 - ② 目的的・自治的な集団での活動体験の充実
 - ・ 「ひと・もの・こと」との積極的なかわりの充実

家庭・地域との連携・情報共有と協働

- ・ 各種便り・HPの充実
- ・ 学校評価実施と公表・改善

幼・保・小・中の接続推進

- ・ 各学校・施設の連携・情報共有
- ・ 子ども・教員の交流

挑戦する生徒の育成

- 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善による確かな学力の育成
 - ① 学びに向かう力の育成
 - ② 生きて働く知識・技能の習得
 - ③ 思考力・判断力・表現力の育成

<授業改善の視点例>

魅力ある学習課題 見通し 振り返り つながり
何を学ぶか わかる・できる授業 構造的な板書
ノートづくり 言語活動 ICTの効果的活用 等
 - ④ 基礎的・基本的事項の確かな習得
 - ・ 個に応じた支援の工夫や学習コンテストの実施等
- 2 自己の向上を目指し努力を重ねる習慣の定着
 - ① 志保井が丘ノートによる自己マネジメント能力の育成
 - ② たくましい体とあきらめない心づくり
 - ・ PDCA サイクルを活用した学力・体力・集団力の向上
 - ・ 目標を明確にした計画的・主体的な部活動の推進
 - ・ PDCA サイクルの定着と改善

創造的に生きる生徒の育成

- 1 系統的で豊かな体験活動の実施
 - ① 自分の可能性や自分の将来を考える時間の設定
 - ② 失敗し、それを乗り越える成功体験ができる環境整備
 - ・ 生活経験の不足を補う体験活動の設定
 - ・ 幅広い視野、多様な視点からの自分自身の再認識
 - ・ 失敗から学び成長する経験の価値の共有と実践
 - ・ グローバルな視点を身に付けさせる学校行事
- 2 キャリア教育の充実
 - ① 夢と志をもち実現への見通しを持たせる活動の充実
 - ② 夢や目標の明確化・具体化に向けた総合的な学習
 - ・ 3年間を見通した系統的で、豊かな体験活動
 - ・ 職場体験を核とし、地域の力を生かしたキャリア教育の推進・改善
- 3 前向きで未来志向の考え方の育成
 - ① 多様な価値観や新たな見方・考え方との出会い
 - ② 自分のキャリアとの関連からの見方の育成
 - ・ 未知の知識や最先端技術等に触れる機会の設定

チ
ーム
飯
野
中
実
践
事
項